

登録コード	E1002900	開講年度	2026				
授業科目	子どもと環境					担当教員	安達 仁美
英文授業名	Children and the Environment					副担当	篠崎 正典
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生	
講義室	教育図書2階講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・幼児を取り巻く環境と幼児の発達についての意義を理解できること。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解できること。 ・幼児期の標識・文字など、情報・施設との関わりの発達を理解できること。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本講義では、領域「環境」の指導に必要な感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身に付ける。特に、幼児を取り巻く環境（自然環境，社会・文化的環境）とその現代的な課題，幼児と身近な環境との関わりの発達等について，具体的な事例の検討や情報機器の活用を含む協同作業を通して理解を深めることを目指す。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンスー幼児と環境（篠崎教員） 第2回：幼児教育における「環境」（篠崎教員） 第3回：領域「環境」の変遷と指導内容（篠崎教員） 第4回：子どもの姿から捉える遊びと環境（安達教員） 第5回：自由保育と設定保育&子どもの遊びを予想する（安達教員） 第6回：保育の観察（安達教員） 第7回：子どもが遊びにうちこむ環境づくり（安達教員） 第8回：自由保育と子どもの育ち（安達教員） 第9回：「自然遊び」と子どもの育ち（篠崎教員） 第10回：「伝統行事」と子どもの育ち（篠崎教員） 第11回：「標識・文字に関わる指導」と子どもの育ち（篠崎教員） 第12回：「ごっこ遊び」と子どもの育ち（篠崎教員） 第13回：幼児の育ちと小学校教育への接続（安達教員） 第14回：まとめ、確認テスト、授業アンケート（安達教員） 第2回から第13回までの内容は、順序が変更となることがある。 教育実習等による欠席者への補講は、適宜レポート課題の提出により実施する。						
(6)成績評価の方法	・授業のねらいの到達度を測る毎回の課題（40％），確認テスト（60％）の成績を総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】領域「環境」の指導に関連する専門的事項における感性を養い，知識・技能を身に付けている。さらに，授業の内容を応用的に発展させ根拠を提示しながら自分の見解を示すことができる。 【かなり上にある】領域「環境」の指導に関連する専門的事項における感性を養い，知識・技能を身に付けている。さらに，授業の内容をもとに根拠を示しながら自分の意見を示すことができる。 【やや上にある】領域「環境」の指導に関連する専門的事項における感性を養い，知識・技能を身に付けている。さらに，授業の内容をもとに自分の意見を示すことができる。 【その水準にある】領域「環境」の指導に関連する専門的事項における感性を養い，知識・技能を身に付けている。						
(8)事前事後学習の内容	・事前学習は，eALPS上にアップロードされた授業資料，または前時に配布した資料を通して予習を行う。 ・事後学習は，授業内で示した課題に取り組み，eALPS上の指定したフォーラムに期日までに自分の意見を書きこむこと。						
(9)履修上の注意	講義内では自分の考えを述べたり，書いたりする場を多く設定するので，常に自分なりの問題意識を持って授業に臨んで欲しい。また，グループ活動を頻繁に行うため，協調性をもって取り組むこと。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・安達研究室（北校舎N308） E-mail：adachi@shinshu-u.ac.jp メール予約で随時対応 ・篠崎研究室（中校舎M415） E-mail：mshino@shinshu-u.ac.jp メール予約で随時対応						
【教科書】	・幼稚園教育要領（平成29年3月告示，文部科学省） ・小学校学習指導要領（平成29年3月告示，文部科学省）						
【参考文献】	・授業内で適宜紹介する。						